

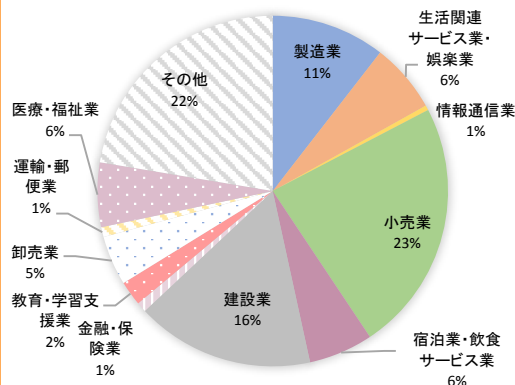
三田市商工会「平成30年度市内経済雇用動向調査」報告書 ～従業員数5人以下～

平成30年調査

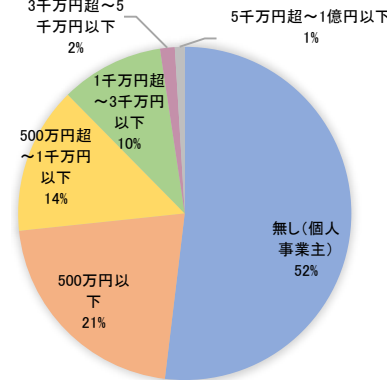
- 調査目的: 市内事業所の景況や雇用の状況について把握し、今後の三田市商工会の伴走型支援を進めるための基礎資料を得る。
- 調査方法: 郵送による調査票送付、返信
- 調査対象: 市内事業者 2,299社
- 回答数: 463社(回答率20%)
- 対象期間: 平成30年7月～9月
- DI値: ①業況...良い割合－悪い割合、売上高...好調割合－低調割合
仕入高...上昇割合－低下割合、採算...黒字割合－赤字割合
設備...過剰割合－不足割合、従業員...過剰割合－不足割合
②<>内は前年同期(平成29年7月～9月)の数値との差

●回答企業の属性: 従業員数5人以下 219社

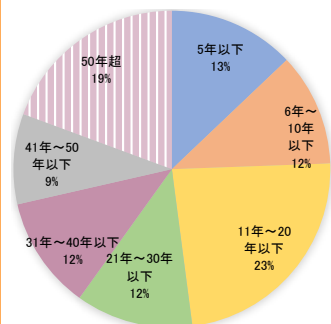
【業種】



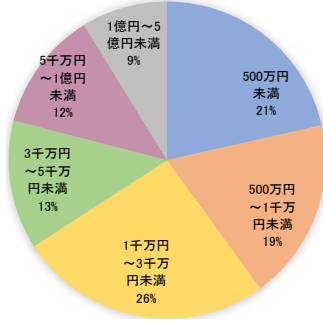
【資本金】



【業歴】



【売上高】



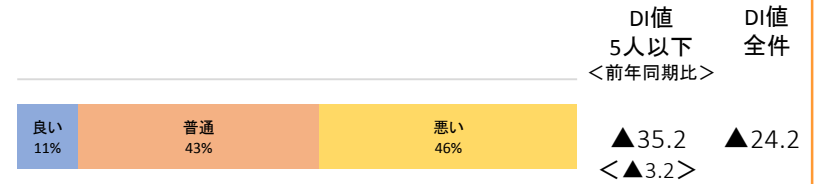
○従業員数5人以下の事業所では、個人事業主が半数を占めた。

○業歴は50年超の事業所が約20%、31年以上の事業所が40%を占め、小規模だが長く続く企業は多い。

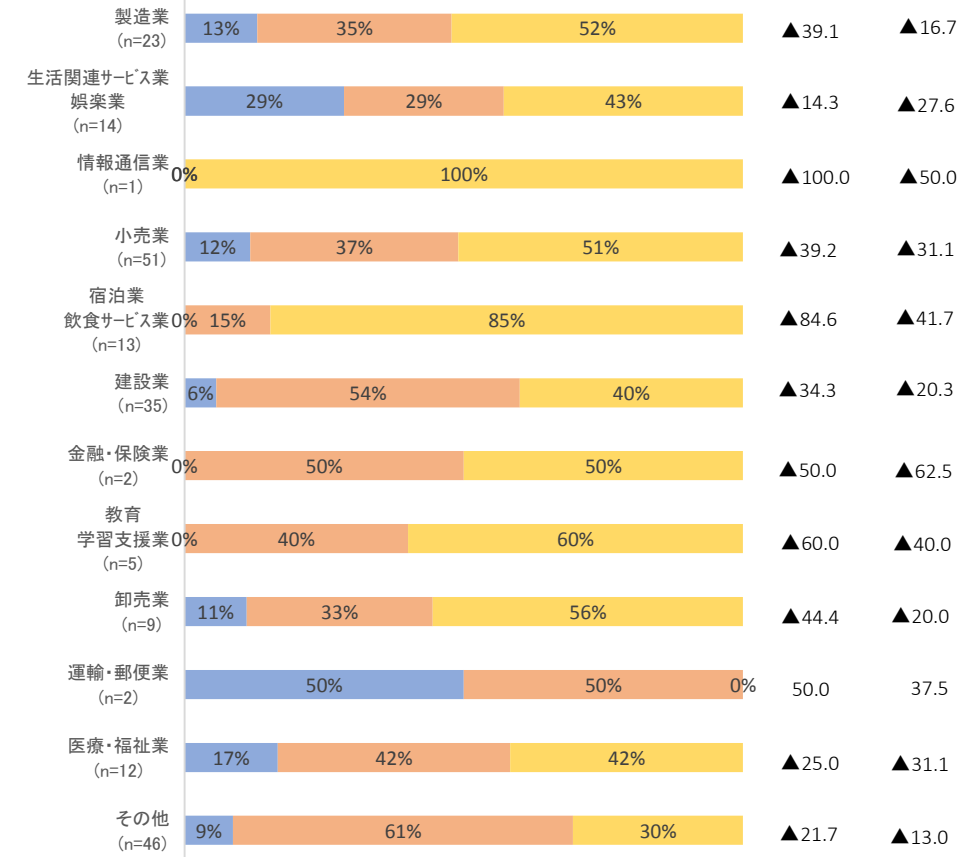
○売上高は500万円未満が約20%、1千万円未満が40%を占めた。

【業況】

全体



業種別



○全業種の業況判断DIは、(前年同期▲32.0→)▲35.2(前年差3.2ポイント減)となり、マイナス幅が拡大した。また、全件に比べ、5人以下事業所のマイナス幅は大きい。

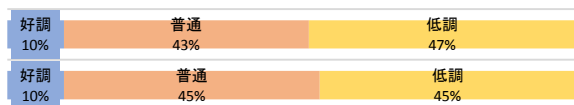
○業種別にみると、「生活関連サービス業・娯楽業」「医療・福祉業」などでは全件に比べてマイナス幅が小さいが、「製造業」「宿泊業・飲食サービス業」「卸売業」では大きい。

○特に「宿泊業・飲食サービス業」では8割を超える事業所が「悪い」と回答している。

三田市商工会「平成30年度市内経済雇用動向調査」報告書 ～従業員数5人以下～

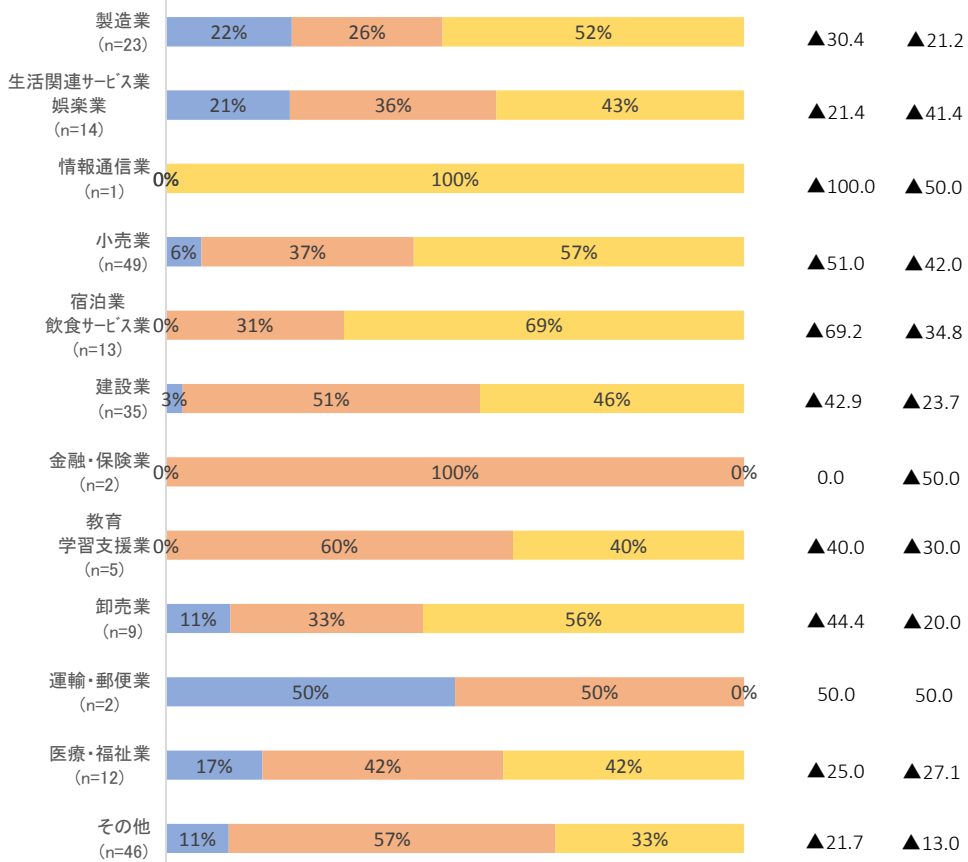
【売上高】

全体



DI値
5人以下
<前年同期比>
▲37.0
▲26.7
<▲2.0>

業種別

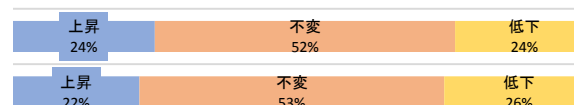


○全業種の売上高DIは、(前年同期▲35.0→)▲37.0(前年差2.0ポイント減)となり、マイナス幅が拡大した。

○「製造業」「小売業」「宿泊業・飲食サービス業」「卸売業」で、「低調」の割合が「好調」「普通」を上回っている。

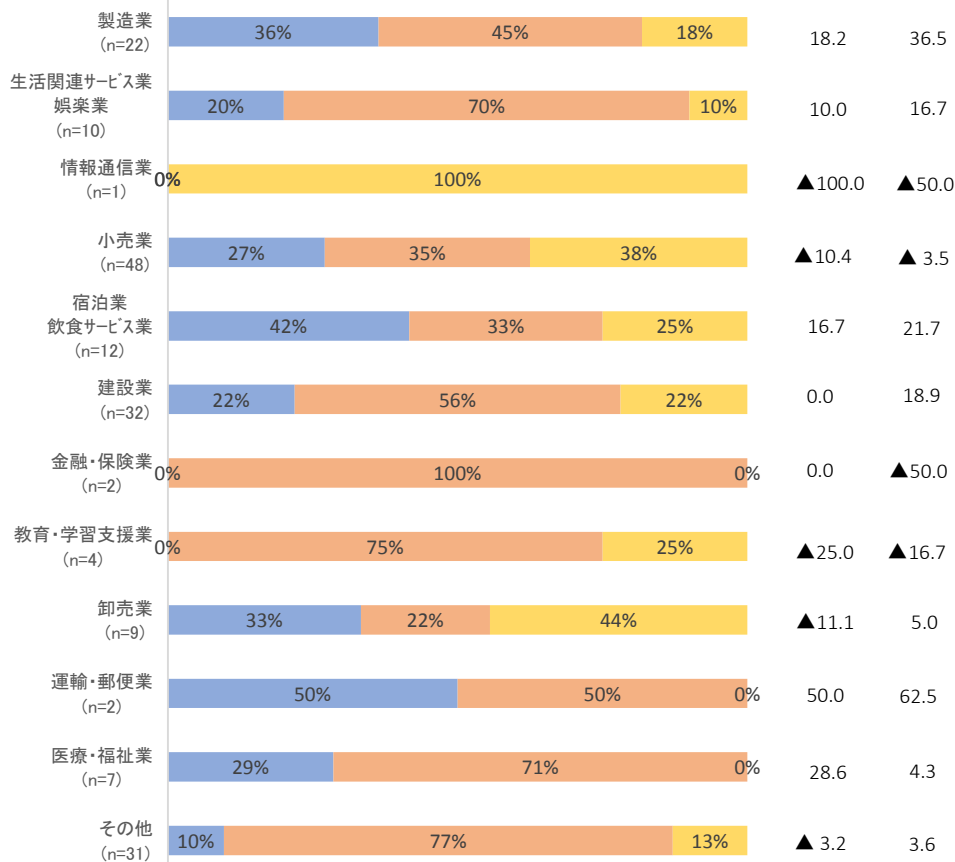
【仕入高】

全体



DI値
5人以下
<前年同期比>
0.2
11.5
<4.2>

業種別

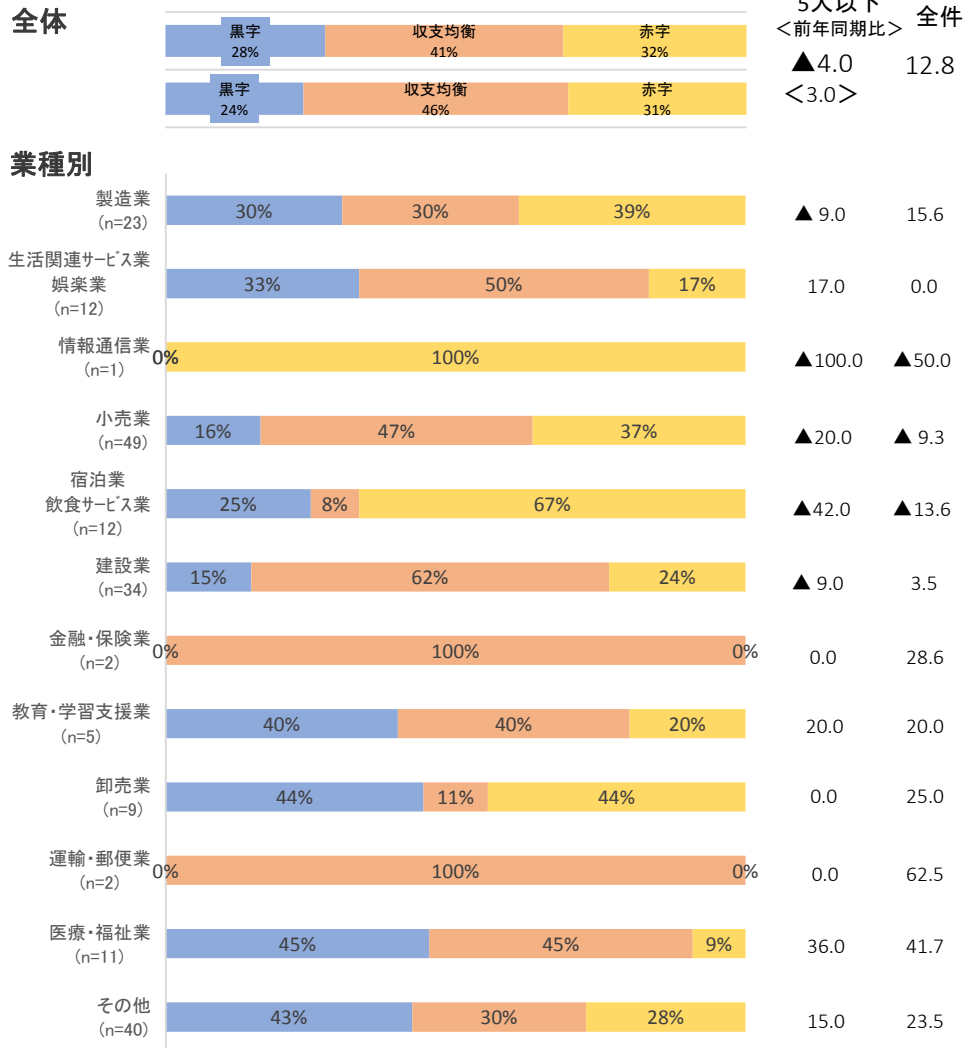


○全業種の仕入高DIは、(前年同期▲4.0→)0.2(前年差4.2ポイント増)となり、プラスに転じたが、全件に比べ、ほとんどの業種でプラス幅は小さい。

○売上高と反する結果となっており、粗利益の確保が厳しくなっていることが考えられる。

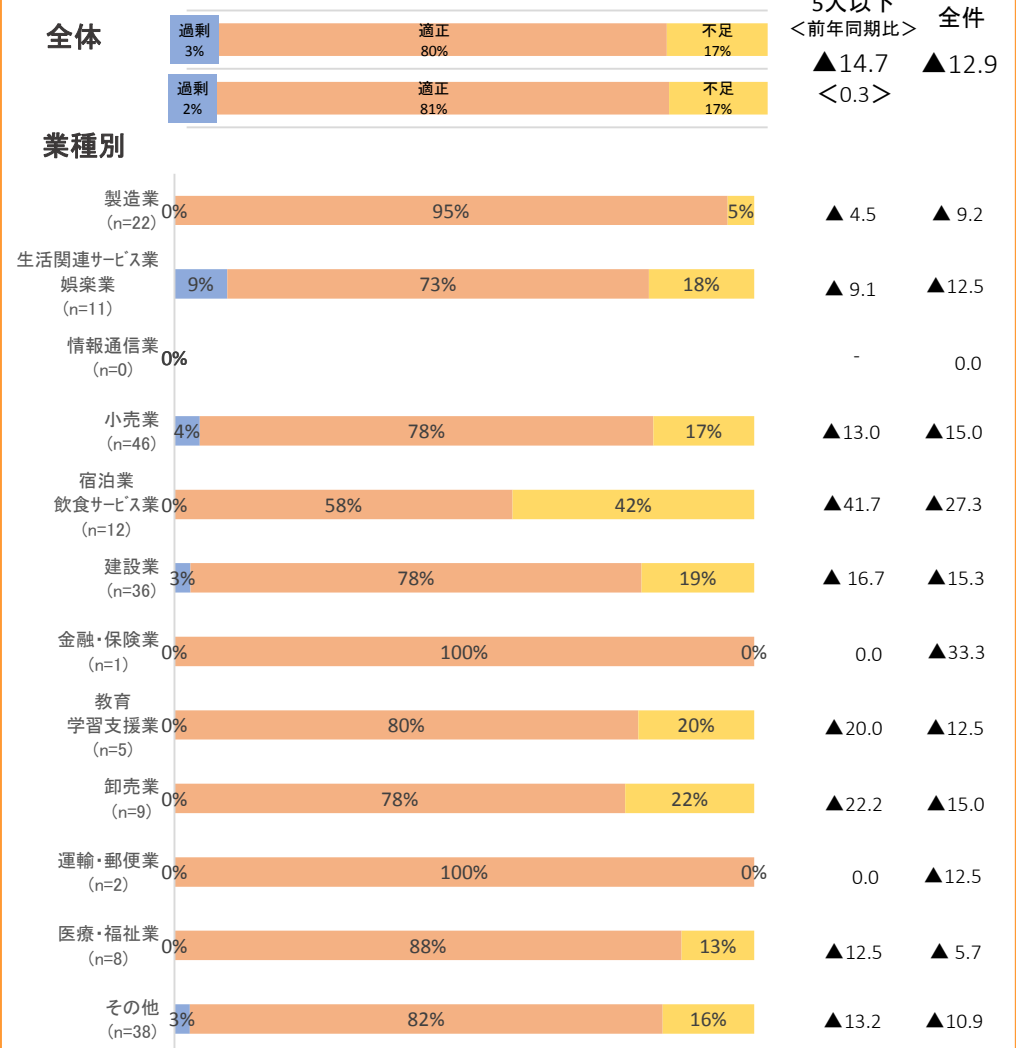
三田市商工会「平成30年度市内経済雇用動向調査」報告書 ～従業員数5人以下～

【採算】



○全業種の採算DIは、(前年同期▲7.0→)▲4.0(前年差3.0ポイント増)となり、マイナス幅が縮小したが、昨年同様、全件のDI値がプラスであったのに対し、5人以下事業所はマイナスとなった。
○業種別にみると、約半数の業種が「黒字」か「収支均衡」であるが、「宿泊業・飲食サービス業」では約7割の事業所が「赤字」と回答している。

【設備】

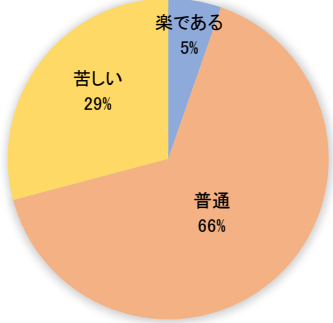


○全業種の設備過不足DIは、(前年同期▲15.0→)▲14.7(前年差0.3ポイント増)となり、不足感はほぼ横ばいだが、昨年同様、全件よりも強い結果となった。
○特に、「宿泊業・飲食サービス業」での不足感が強く、採算が悪いこととの関連が考えられる。

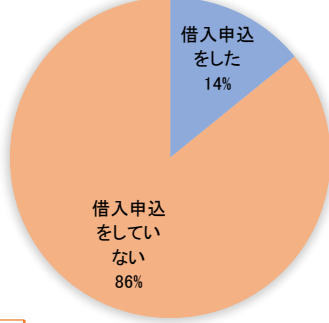
三田市商工会「平成30年度市内経済雇用動向調査」報告書 ～従業員数5人以下～

【資金繰り】

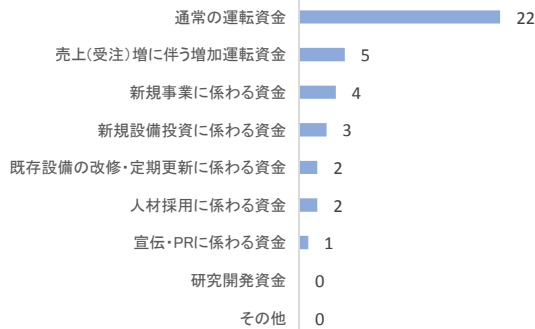
(1) 資金繰り状況



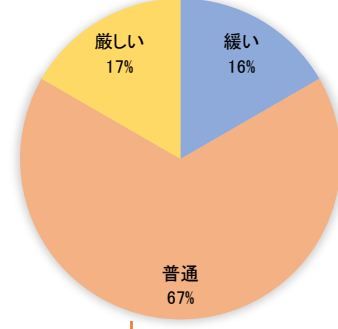
(2) 借入申込状況



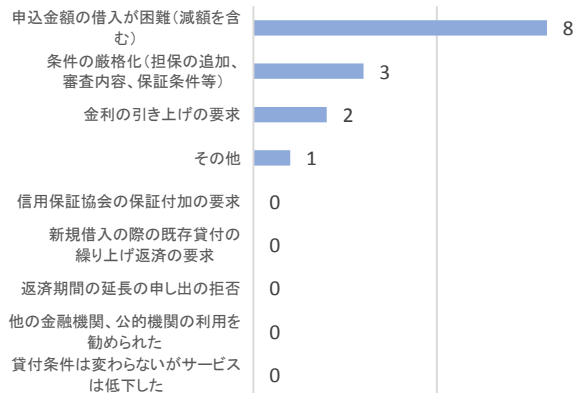
(3) 資金用途について



(4) 金融機関(借入条件等)の姿勢



(5) 金融機関の姿勢が厳しい点

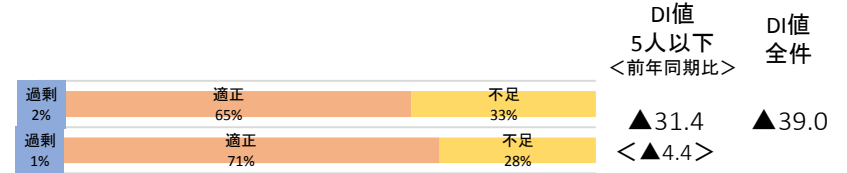


○資金繰りDIは、(前年同期 ▲19.0→)▲24.0(前年差5.0ポイント減)となり、マイナス幅が拡大した。
資金繰りの厳しい状況が強まっている。

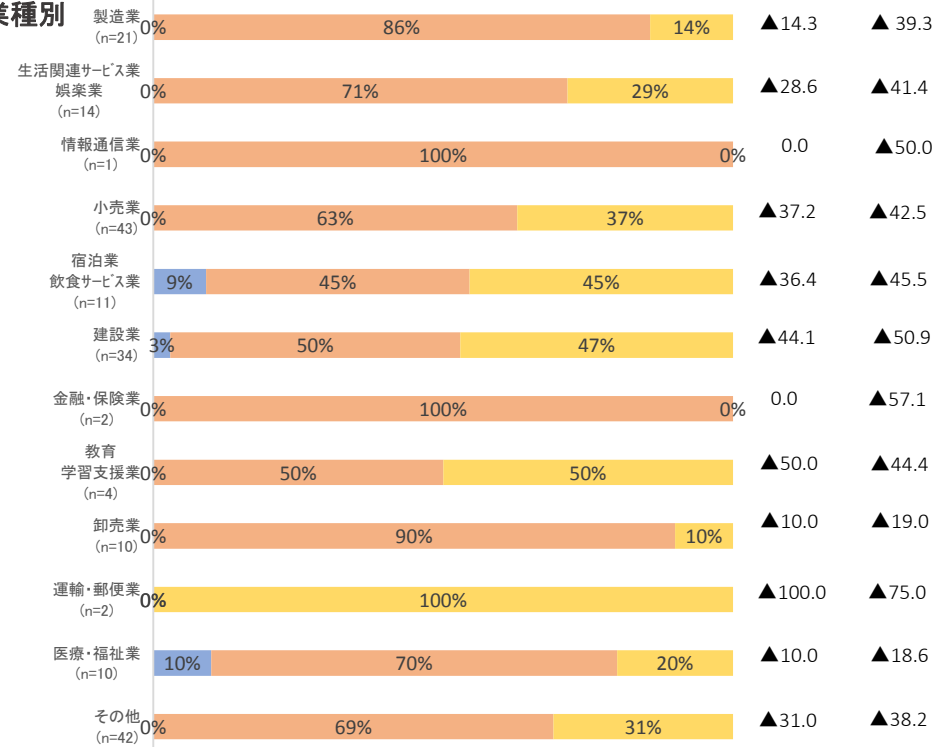
○資金用途は、前年同期と比べ、「新規設備投資に係わる資金」の件数が減少した。

【従業員】

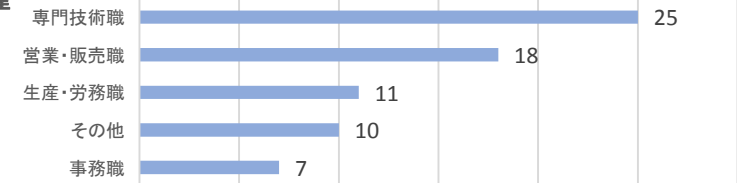
全体



業種別



不足職種

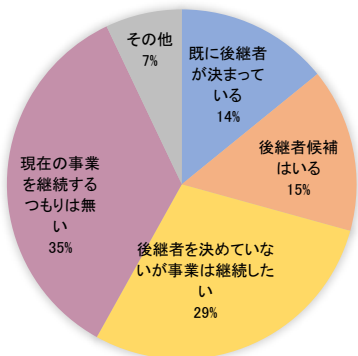


○全業種の従業員過不足DIは、(前年同期 ▲27.0→)▲31.4(前年差4.4ポイント減)とマイナス幅が拡大し、さらに不足感が強まった。
○業種別にみると、「運輸業」「建設業」「小売業」「宿泊業・飲食サービス業」の不足感が強くなっている。

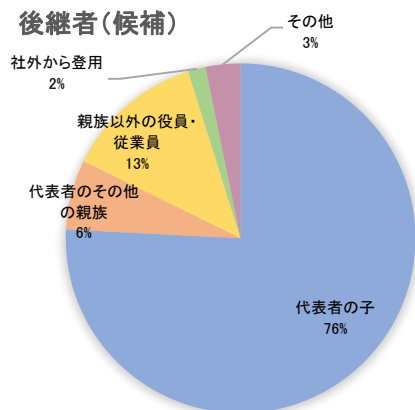
三田市商工会「平成30年度市内経済雇用動向調査」報告書 ～従業員数5人以下～

【事業承継】

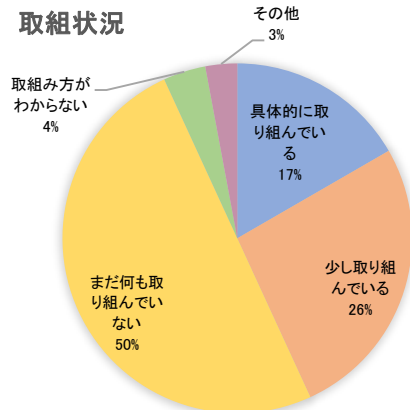
事業承継予定



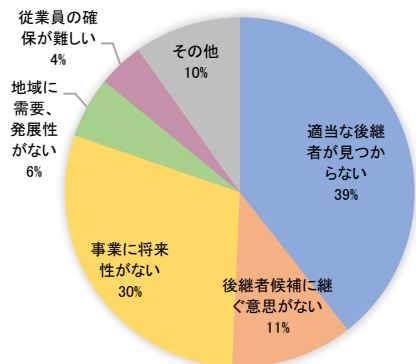
後継者(候補)



取組状況



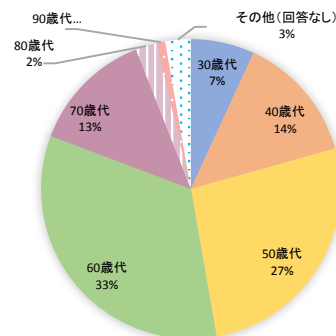
廃業の検討理由



事業承継の問題・課題



(参考) 経営者の年齢

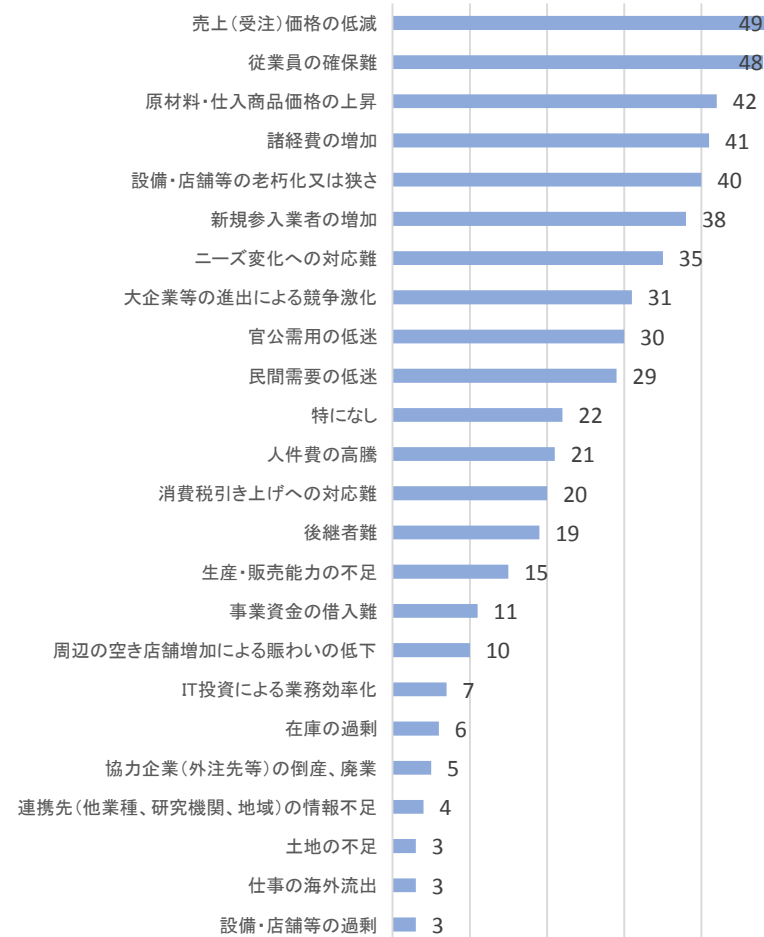


○事業承継予定について、「後継者候補はいる」「後継者を決めていないが事業は継続したい」が約45%を占めた。

○「廃業予定」が35%を占めた。
その理由として、「適当な後継者が見つからない」「後継者候補に継ぐ意思が無い」が50%を占め、後継者難による廃業を阻止する支援が急務である。

○取組状況について「まだ何も取り組んでいない」「取組み方がわからない」が50%を占めた。

【直面している経営上の課題】



○全件では「従業員の確保難」と「人件費の高騰」が多数を占めたが、従業員数5人以下の事業所では「売上(受注)価格の低減」が「従業員の確保難」とほぼ同数を占めた。「原材料・仕入商品価格の上昇」や「諸経費の増加」も多く、経営全般にわたって厳しい状況がうかがえる。

【まとめ】

小規模事業者の景況感は、前年に比べ悪化した。特に「宿泊・飲食サービス業」での悪化が顕著で、異常気象等による原材料費の高騰や人手不足、消費者の節約志向などが原因と考えられる。

三田市商工会「平成30年度市内経済雇用動向調査」報告書 ～従業員数5人以下～

【事業所の声】

●業況●

- 天候不順や地震などの影響が大きい。(製造業:日用品)
- 業界の競争が激化し、従業員の入れ替わりが激しい。(生活関連サービス業:美容業)
- 天候により、悪化。(小売業:ガーデニング用品)(建設業:リフォーム)
- 天候不順により客足が低下、商品の仕入価格も上昇。(小売業:生鮮品)

●売上●

- 平日昼間に市内に人がいない。(小売業:生鮮品)
- 作業員確保が困難ため、受注できなかった。(建設業:設備工事業)
- 売上は増加しているが、原料高騰のため利益が減少している。(飲食サービス業:和食店)
- 患者数は増加しているが医療点数の減額により、売上は横ばい。(医療)
- 安い中国製品が出回り使い捨ての時代になったため、年々悪化している。(小売業:リサイクルショップ)
- ネット社会になってから売上が1/3に低下している。(小売業)
- コンビニ等どこでも酒もタバコも買えるようになったため売上が減少した。(小売業:酒販売)

●その他●

- 国が定価を決めるものは前年比100%や100.5%止まりなのに、最低賃金が103.1%となり、苦しい。(小売業:書籍)
- 電子化が進み、紙書籍・週刊雑誌の需要の減少が激しい在庫をかかえての事業としては規模が小さすぎる。安定した商品として教科書があるが少子化で減少が止まらない。(小売業:書籍)
- 急な人員減少により、今現在、仕事のできる人員が不足している。(小売業)
- 今後事業継承するにあたり、このまま三田で商売を続けるか悩んでいる。三田では材料がそろわなくなってきたこと、お客様の層が変わってきたことが理由。(飲食サービス業:和食店)
- 見積りの割に成約率が悪い。(建設業:エクステリア工事)
- 自店を利用していただいていたお客様の高齢化により、利用客が年々減少していく中、田舎であっても市街の大型店で買物をすませる人が増えている現状。たばこの値上げもどんどん進み、たばこ離れの人も増加し、当店は苦しい一方である。(小売業:雑貨店)
- 三田駅近辺は新しい店も多く活気もあり、女の子も多いが、裏の方は建物も古く、女の子も少ないので需要がなくなりつつある。が、家賃は高く建物を変えるのも難しい。(飲食サービス業:居酒屋)
- 楽天に出店しているが、あまりにも店のことを考えていない罰金制度や出店料の値上げ、アフリエイトのパーセンテージの値上げ強制などにより安心して事業をできなくなっている。(小売業:インターネットショップ)
- 材料費などが高騰しているのに20年以上前から単価が上がらない。(製造業:産業機械)
- 認可保育所が空くまでの待機場所としか存在価値がなくなった現在、認可数が増加したので存在の意味すらなくなっている。補助も減少傾向にある。(生活関連サービス業:保育園)
- 大型店の進出、多数の出店など扱い業者も増え、競争が激しい。客は大きい店舗に流れている。個人商売は、すべてにおいてつぶされる。(生活関連サービス業)